



大樹のこころ

ハッピー集会

校長室だよりの前号で、本校の「プチ行事」について紹介させていただきました。3学期に入って毎週のように各学年で行事が行われていますが、今日は全校挙げての行事が行われました。代表委員会の企画運営による「ハッピー集会」です。

この集会は代表委員会の子供たちの「全校みんなでレクリエーションをする機会を設けたい」との思いから実現しました。単純に全校で遊ぶというのではなく、本校が大切にしている異学年交流を取り入れていきます。全校児童を1年生から6年生までが混在するA~Iの9チームに分けてゲームを競い合います。このチーム分けには、もちろん先生も仲間入り。3つのレクリエーションが用意されており、そこでポイントを集めて優勝を目指すという企画です。

最初のレクは「大樹寺小クイズ」。学校にまつわるクイズに、子供たちは赤白帽子を活用して答えを選択していきます。「校長先生の名前は何でしょう」「徳川家康が大樹寺に植えた木は」「なかよし池にいる生き物は」などの出題がありました、チームごとに学年を超えて相談が始まります。みんなで考えた解答に一喜一憂。盛り上がっていきます。

次のゲームは「体じゃんけん」。自分の体をつかって「グー」「チョキ」「パー」を表現しての勝負です。代表委員の子や若い先生を相手にじゃんけんをして、勝つとポイントがゲットできるというゲーム。子供たちはじゃんけんが大好きです。若い先生のじゃんけんパフォーマンスや勝った負けたで運動場に大きな歓声が起こります。

最後を飾るレクは「じゃんけん列車」です。各チームの学年ごとで肩に両手をのせて「列車」をつくります。列車の先頭の子が別の列車の先頭の子とじゃんけん勝負をし、負けた列車は相手の列車の最後尾にドッキング。これを繰り返していくと、長い列車ができていきます。制限時間を過ぎた時に、先頭にいるチームにポイントが入るというルール。ゲーム当初にたくさんあった列車が、少しずつ統合されて長くなっていく様子は圧巻。ゲーム終了時に先頭に立った子供は、とても誇らしげです。中には先頭で子供相手に勝ち続けた先生もいて、少し大人げないなと思いました(笑)。

この集会を見ていて感じたのは、作り物ではない本当の子供の姿が表出されることの素晴らしさです。練習を重ねて本番を迎える行事も大切ですが、ハッピー集会のように子供が主体となって企画運営し、素の子供の姿を引き出していく行事も価値があると思いました。ハッピー集会。その名の通り心がハッピーになる素敵な行事でした。

